

全ての民主的勢力は民族統一に結束しよう

民族和解政府樹立断固支持の米軍は即時完全撤退せよ

# 追ひ込まれるニグロ・チャーに最後の鉄追

北アナム、合意事項発表のニグロ・チャーは直ちに調印せよ

参謀諸君。東南アジアにおける反米冷戦政策を二重して遂行し、その最大の環として南アナムのニグロ・チャーを一方的に破棄し、北アナム侵略を行なつてきた米軍は、反帝平和勢力の偉大な前進、とりわけ、民族解放戦線、北アナム人民の英雄的な闘いの前に、無差別に南爆弾、毒ガス、機銃掃射等、ありとあらゆる政略を民族殺戮戦室を継続したにも関わらず、6日にわたる北アナムとの秘密合談の中で、合意事項の項目を認めざるを得なくなったのである。

昨日、北アナムが発表した合意事項の項目の内容の骨子は、①米軍は北アナムの独立、主権、統一、領土保全と尊重の調印後二十四時間内に南アナム全土で停戦、米、同盟軍は二十四日以内に完全撤退、②南アナムは国際監視下に総選挙を行ふ。③南アナム政府と臨時革命政府は三派平等の民族和解一致全国協議会を作る。④北アナムの再統一は平和的段階的に行ふ。⑤国際連盟、監視者の設置、⑥オース、カンボジア人民の民族的諸権利の尊重と自決諸外国軍の撤退、等々である。我々はこの合意事項を断固支持しなければならぬ。

だが、追ひ詰められたニグロ・チャーは最後の悪どきを行なっている。すなわち、「カイユンに困難な条件がある」という名目で、米軍は三の合意事項の調印を遅らせようとしているのである。チャーは二十四日表明を発表し、「三派連合政府樹立反対」「南アナムに共産主義者の政府は作りなさい」という二つを国民の前に提示し、米軍に「抵抗」を示している。また、南アナム上院において、チャーが下院入会を行ない、「反共」を利用し三形に於いて、チャー支持の決議を上かつている。そして、チャーは直ちに調印を拒否する。

なることは、米軍がその約束していた合意事項の実現を遅延させるため「持ち出し」て三派にすぎない。

参謀諸君、今こそ、全世界の反帝平和勢力と連帯し、ニグロ・チャーに「即時停戦、民族和解政府樹立、米軍即時完全撤退、チャー即時降伏」をおくつけていこう。全アナム、参謀から「合意事項即時調印」の声を起そう。

B52中爆弾、米機銃掃射、戦車、輸送阻止、田中はチャーナム侵略加担をやめよ。

米軍は白旗海難の名目の下に、B52戦略爆撃機を叩き、嘉手納基地に降下させることを発表した。我々は、この米軍の政略な、返還後四回目の如置であること、そしてグアム島にあるほとんどの米軍のB52が嘉手納に「避難」していることを知るならば、「嘉手納基地をB52の常駐基地として存続させること」、そして停戦条約を堅持し、北アナム侵略に更に手を貸さぬものであることを確認する必要があるだろう。また、相模原補給廠からは、車両制限令改定後、二十四日に続き、二回目の戦車車両搬出を行なった。これは、民族解放戦線、北アナム人民を先導にした解放三軍に敵対するものであり、米軍は反帝平和勢力の前進に、後退を余儀なくされている現在、一層の侵略加担を行なうものである。南アナム臨時革命政府は日本国に追従してきた日本に大きく非難を浴びせている。

参謀諸君、ニグロ・チャーに最後の鉄鎚を打ち込み、日本の侵略加担を許さぬ三派構線に何よりも力を強化しよう。

## 民族統一(統一)民族

10/27